

学校だより

翔 空

No. 49 平成25年 3月 12日 (火)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、^{ふう}風光^{こう}明媚^{めい}なこの^{まなびや}学舎から、希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

[今年度は、特別の思いが残る1年でした。]

今年度もまたこの時期が来ました。そうです。別れの時です。今年度は特別の思いが残る1年です。市の優勝、き戦団での活躍、の意見あがり中心の昨年4月先喜久田中喜年ると先この生徒の

と震大まごにお(本校を掲げ、14:46は、全

” 抑げば
尊し
我が師
の恩 ♪



ご卒業おめでとうございます！

～私の座右の銘を卒業生に贈ります～

平成24年度の卒業式(喜久田中学校の第66回卒業証書授与式)は、明日行われ、卒業生が一人一人の生活の念を流す。卒業生が一人一人の生活の念を流す。卒業生が一人一人の生活の念を流す。

心ここに在らざれば、視れども見えず、聴けども聞こえず、食えどもその味を知らず。これを身を修むるは、その心を正しくするに在りと謂う。(心というのは、しっかりと座っていなければ、目で視ていてもぼおとして見えず、耳では聴いていても何か聞き分けられず、口にしてもその味がわからないように、正しい判断が得られない。)

私にとって、今では常に勇気を与え、鞭を打つてくれる座右の銘となっています。人間には喜怒哀楽があります。それを完全になくして、心をい

卒業生の皆さんは、まだ15歳です。「人生80年」と言われる時代です。あと65年間をどのように過ごすのでしょうか。一人一人の今後の大いなる飛躍を期待しています。自分の夢を最後には実現してくださいね。